このレポート様式は、物理チャレンジを参考に作成しています。

（1）レポート題目、所属、氏名、要約　※この項目が1ページ目

レポートの題目：

所属：宮城県仙台第三高等学校

氏名：

レポート全体の要約（要旨）　【400字程度】

（2）実験の目的

　はじめに何を目的とした実験なのかを書きます。自分なりの視点や独創性がどこにあるのかを明確に書きましょう。

（3）実験手法

　実験の原理、装置や計測機器の説明、測定方法や実験条件などを、実験装置の模式図や写真などを活用して詳しく書きます。他の人がこれを読んで、実験を再現するために必要な情報をすべて含めましょう。

（4）実験結果

　結論を導くのに必要な測定データなどを表やグラフを使って分かりやすく示します。表やグラフを示すだけでなく、それらから言えること（実験結果）を書きましょう。計算の過程が分かるように示し、実験データの不確かさ（精度、有効数字）についても考えましょう。

（5）考察

　実験結果を基にして自分の解釈を書きます。実験結果が『理科年表』などに掲載してある値と異なっていても、何が原因で異なった値になったのかを考えましょう。

（6）結　論

実験の目的に照らし合わせ、何が分かったかを簡潔に書きます。

（7）参考資料

　実験の立案･実施から実験レポート作成にあたり、参考にした書籍や論文、Webページなどを、番号を付けてすべて記載します。実験レポートの中で引用するときは、その部分に番号を付けます。

※参考資料から引用したものを、自分の考えたことのように書いてはいけません。

（8）謝　辞

　共同実験者以外で、実験に協力してくれた人がいる場合は、その人の氏名と協力してくれた内容とともに感謝の言葉を書きます。